

9/7(月)まで開催中! ※火曜休館

2015年いしかり砂丘の風資料館テーマ展

「石狩と戦争」

主な展示 石狩空襲と望来空襲／
石狩の「銃後」／戦争の碑

戦争の碑

「戦争の碑」とは、主に戦勝記念が戦没者の慰霊を目的に建立された石碑のことです。現在、市内には10カ所で確認されています。ほとんどは先の大戦での戦没者を慰霊するものですが、古いものは日露戦争の戦死者を慰霊するものもあります。

北海道は昭和20(1945)年7月14日・15日にアメリカの艦載機による爆撃を受け、多くの民間人が亡くなりました。旧石狩地区では13人が、厚田区望来では11人が亡くなっています。厚田区望来の「平和祈念碑」には、望来地区で亡くなった方々の名前が刻まれています。

石狩の各地には地元から出征し、亡くなった方々の名前を刻んだものがあります。生振の「戦没者慰霊平和祈念之碑」には生振から出征して亡くなった30人が、花畔神社にある「戦没者慰霊平和祈念之碑」には35人の名前が刻まれています。

石狩市全体で何人が戦場に赴き、何人が帰らぬ人となったのか、正確には把握できていませんが、大切な人を失った悲しみは石碑に刻まれ、戦後70年たった今も見ることが出来ます。

(工藤義衛)



平和祈念碑(厚田区望来)



戦没者慰霊平和祈念之碑(創生園内)



戦没者慰霊平和祈念之碑(花畔神社境内)



殉国写経塔(了恵寺境内)

■市内にある戦争の碑

名称	所在地	建立年
彰徳碑	親船町共同墓地	明治39(1906)年
戦死者墓碑	親船町共同墓地	昭和12(1937)年
「日露戦役」の碑	親船町共同墓地	昭和5(1930)年ころ
殉国軍馬霊碑	親船町	昭和16(1941)年
戦勝記念燈籠	花畔神社境内	明治37(1904)年
明治廿七八年戦没紀念碑	花畔神社境内	明治40(1907)年
戦没者慰霊平和祈念之碑	花畔神社境内	平成 9(1997)年
殉国写経塔	了恵寺境内	平成13(2001)年
忠魂碑	樽川神社境内	明治37(1904)年
戦没者慰霊平和祈念之碑	創生園内(生振)	平成 2(1990)年
戦没者慰霊平和祈念の石灯籠	創生園内(生振)	平成 8(1996)年
平和祈念碑	望来神社境内	平成 4(1992)年
忠魂碑	厚田神社地先	大正 4(1915)年
忠魂碑	群別	大正 4(1915)年
萬国戦死殉難死者之霊位	豊隆寺(境内裏)	昭和55(1980)年



工藤義衛 Tomoe Kudo

専門分野は考古学と風俗史。石狩独特の文化を研究する一環で石狩の食を代表する「石狩鍋」の歴史やルーツについても調査を行う。

ERIS 「いしかり博物誌」は、えりすいしかりネットテレビ [HP](http://www.i-eris.tv/) <http://www.i-eris.tv/> でもご覧いただけます。